

⑨ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭62-115370

⑫ Int. Cl.:

B 65 D 47/20
81/28

識別記号

庁内整理番号

J-8208-3E
C-2119-3E

⑬ 公開 昭和62年(1987)7月22日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 注出キャップ

⑮ 実 願 昭61-2797

⑯ 出 願 昭61(1986)1月13日

⑰ 考 案 者	平 岡 治	大阪市東淀川区小松2-17-45 大阪資生堂株式会社内
⑱ 考 案 者	清 野 徳 男	大阪市東淀川区小松2-17-45 大阪資生堂株式会社内
⑲ 考 案 者	笹 川 康 博	大阪市東淀川区小松2-17-45 大阪資生堂株式会社内
⑳ 考 案 者	高 倉 香 明	茨木市宇野辺1-6-9 株式会社吉野工業所大阪工場内
㉑ 考 案 者	中 村 哲 三	茨木市宇野辺1-6-9 株式会社吉野工業所大阪工場内
㉒ 出 願 人	株式会社資生堂	東京都中央区銀座7丁目5番5号
㉓ 出 願 人	株式会社吉野工業所	東京都江東区大島3丁目2番6号
㉔ 代 理 人	弁理士 渡辺 一 豊	

⑳ 実用新案登録請求の範囲

スクイズ機能を有する壺体1の口筒2に密に嵌合組付けされる有頂筒体の頂板6中心に貫通孔7を設け、該貫通孔7の周囲の前記頂板6部分に通気孔8を開孔した中栓5と、前記口筒2に密に外装組付けされる有頂筒体の頂壁15下面中心に前記貫通孔7に密嵌入する有底筒形状の注出筒16を垂下設し、該注出筒16の底壁17中央に注出孔18を開孔し、前記注出筒16の周囲の前記頂壁15部分に通気窓20を開孔したキャップ本体12と、該キャップ本体12にヒンジ結合された蓋板28の下面中心に前記注出筒16を開閉する栓筒片29を垂下設すると共に、閉状態で前記注出筒16内に面する箇所に殺菌、防霉、酸素吸収の少なくとも一つの作用を有する薬剤を含有した薬剤片33を固定保持した壺体26と、前記頂板6と前記頂壁15との間に配置された気体のみを

通過させる平リング板状の濾過板21と、前記注出筒16に密嵌入される筒体の下端に前記底壁17を弁座面として逆止弁機能を発揮する弁片24を設けた弁筒22とから成る注出キャップ。

図面の簡単な説明

第1図は、本考案による注出キャップの一実施例を示す全体分解斜視図である。第2図は、第1図に示した実施例の開状態時の縦断面図である。第3図は、第1図に示した実施例の要部拡大縦断面図である。

符号の説明、1；壺体、2；口筒、5；中栓、6；頂板、7；貫通孔、8；通気孔、12；キャップ本体、15；頂壁、16；注出筒、17；底壁、18；注出孔、20；通気窓、21；濾過板、22；弁筒、24；弁片、26；蓋体、28；蓋板、29；栓筒片、33；薬剤片。

実開 昭62-115370(2)

図1

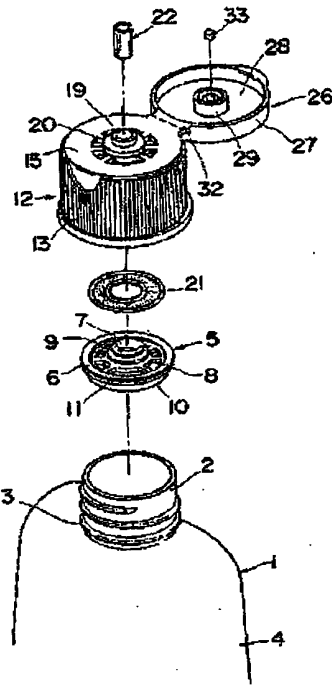
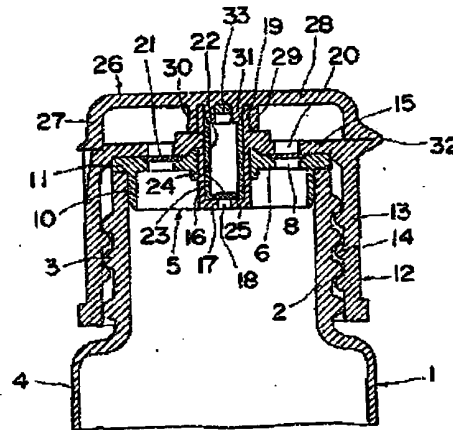


図2



補正 昭61. 4. 8
図面の簡単な説明を次のように補正する。

上記本願願書に添付の明細書中、第11頁2行か
ら3行にかけての記載は、これを削除する。